

## 2022年度 小委員会活動成果報告

(2023年2月15日作成)

小委員会名	JASS 7 改定小委員会	主 査 名：川上 勝弥 就任年月：2021年4月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (組積工事運営委員会)	委員長名：橘高 義典 主 査 名：川上 勝弥
設 置 期 間	2021年4月 ～ 2023年3月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>本会編『建築工事標準仕様書・同解説 JASS 7 メーソリー工事』の第4版を策定する。前回改定(2009年)以降、関連 JIS の改正や鉄筋コンクリート組積造に関する“住宅の品質確保の促進等に関する法律”の適用、本会・鉄筋コンクリート組積造構造計算規準制定などの動きがあり、これらへの対応を踏まえ、第4版として改定するものである。</p> <p>初年度：『JASS 7』改定4版に関する本文および解説について執筆する。 2年度：『JASS7』改定4版に関する本文および解説の査読対応、並びに改定講習会の企画・準備および講習会を実施する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：川上勝弥 (小山工業高等専門学校) 幹事：高橋和雄 (太陽エコブロック)、眞方山美穂 (国土技術政策総合研究所) 委員：青木功 (エスビック)、石井克侑 (日本 RM 建築協会)、井上敏明 (東京ブリック社)、大垣正之 (日本建築あと施工アンカー協会)、関根高明 (関根ブロック)、千歩修 (北海道大学)、根井浩、三田紀行 (三重大学) 山崎尚志 (職業能力開発総合大学校)、米澤稔 (よねざわ工業)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2022年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会HPアドレス：無

項 目	自己評価
委員会開催数	3回 (メール審議、年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	『JASS 7』の本文について執筆中である。
委員会活動の問題点 ・課題	コロナ対策のため、執筆担当者における検討に終始し得なかったため、改定作業を次年度以降も継続とする。